たいよう

No.５８
平成３０年　２月２２日
城南地区青少年
健全育成協議会

「日常の五心」と「金沢子どもかがやき宣言」

金沢市立泉野小学校長　中川　隆博

平成２６年度に金沢市学校教育振興基本計画に掲げる「めざすべき金沢の子ども像」をわかりやすく、覚えやすい言葉で表現するため市内の中学生によるプロジェクト活動がありました。子どもたちの考え方や行動の基本的な約束事として「金沢子どもかがやき宣言」が生まれました。宣言に込められた思いとして「あたりまえのことをあたりまえにできる」ことこそが、今の時代において大切にしたいこととして付記されています。

プロジェクトの参加委員の中学生の皆さんが宣言のできるまでの話し合いの雰囲気をなんとか後世に伝えたかったのだろうと感じました。真剣に話し合った立派な中学生の姿が目に浮かびます。

かがやき宣言に基づいて、中学生会議を中心に小中学校で特に取り組むテーマを抽出して、年ごとに「あいさつ」「ありがとうの気持ち」「思いやり」と続けています。来年度は、「夢に向かって挑戦する」です。小中学校では、各学校でその意味や活動を考え作り上げる話し合いが始まります。

かがやき宣言を読んでいると、似たようなと言っていいかはわかりませんが「日常の五心」というものを思い浮かべます。日常の五心は以下のようなものです。

一、「はい」という素直な心
一、「すみません」という反省の心
一、「私がします」という奉仕の心
一、「おかげさま」という謙虚な心
一、「ありがとう」という感謝の心

この言葉のルーツには諸説あるようですが、古くから伝えられているものであり様々な企業や書籍やホームページにもたくさん表示されていますので、多くの方がご存じなのではないでしょうか。仕事や活動を行っている時につい忘れがちになることを戒めるために語り継がれているのかもしれません。しかしながら、五つの心は、大事にしたい心であり、このことがいつもあたりまえに行動できたら、きっと気持ちよく過ごす事ができると思います。

そして、私たちが日常大切にしていきている態度や心は、いつの間にか子ども達は受けとめていて、自分たち自身のものにしているのではないかと感じます。それは、日常の五心を大切にしてきた人生の先輩たちの思いが金沢子どもかがやき宣言に見事に引き継がれていると感じられるからです。

日常の五心には「はい」「すみません」「私がします」「おかげさま」「ありがとう」と心を表現する言葉があります。実践へと導いてくれています。かがやき宣言も「行動します」と一人一人が態度で表す事を宣言しています。

これらかの子ども達の健やかな成長を願っていきたいと思います。

『あいさつで育てる心のおもいやり』　城南地区青少年健全育成協議会